

新井宿自治会連合会総会の開催

5月25日、新井宿特別出張所において、新井宿自治会連合会総会が開催されました。総会後に開かれた懇親会では、退任会長、自治会・町会役員永年在職者に対して松原区長から、退任副会長に対して岩井連合会長から、感謝状が贈呈されました。

受賞者は次のとおりです。

【退任会長】	伊藤 武夫	沖 稔
【退任副会長】	浦野 栄一	森 相子
【永年在職者】	荒木 秀樹	山崎 晴久
平林 宏一	小島 雄一	入野 タマヨ
児玉 昭二郎	大津 榮子	田中 正一
濱田 良子	林 富美	成瀬 龍夫

(敬称略)

IRSファイナル

第16回 全国小学生ドッジボール選手権 東京都大会で優勝!

平成19年2月24日、駒沢体育館で開催された標記大会で、入新井第四小学校のチーム「IRSファイナル」は、出場した選抜36チームの中でみごと優勝に輝きました。「IRSファイナル」は、1年～6年生まで男女40名で、その中の3年生以上の12名でチームが編成されています。練習は放課後、週2日です。

監督の一倉さんは、「ボールの速さと強さはたいしたもの。また、ご家族の方々の暖かい応援が、子ども達の力になっています」とおっしゃっています。このあと、関東大会ではベスト7位までいきました。

さらなる活躍を願って
フレーフレー「IRSファイナル」!!



東京大会優勝

入四ランナーズ

第17回 関東小学生男女選抜ソフトボール大会で堂々の三位!

平成19年4月28日・29日の両日、埼玉県北本総合公園で開催された標記大会で、関東の精鋭が集う中、東京代表の「入四ランナーズ」は、日頃の練習成果を遺憾なく発揮し、見事な成績を収めました。

《戦績》一回戦は、山梨県のチームに11対1と圧勝しましたが、準決勝で、埼玉県のチーム(昨年の準優勝チーム)に7対8で惜敗しました。個人表彰ではキャッチャーの山田元気くんが、優秀選手に選ばれました。



地元の「観音通り商店街」も入四ランナーズを応援!

編集後記

今号より、新しい編集委員が加わりました。

山王三・四丁目自治会から大瀧真理子委員、中央四丁目町会から若生一順委員です。新鮮な観点からの記事、どうぞご期待ください。立石住枝委員が交代されました。ご苦労さまでした。

なお、第41号(4月1日発行)の2面、山王三・四丁目自治会の記事の冒頭、「自治会と防災協力隊による～」は、正しくは「自治会と防災協力隊および救護隊による～」でした。訂正します。

〈高橋編集委員〉

発行 わがまち大田新井宿地区推進委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会

山王三・四丁目自治会	編集委員長	高橋 紗英子
山王三丁目町会	副編集委員長	延島 武男
山王三丁目東自治会	編集委員	荒木 秀樹
山王三・四丁目自治会	編集委員	大瀧 真理子
中央一丁目町会	編集委員	齋藤 蓉子
中央四丁目町会	編集委員	若生 一順
新井宿五丁目町会	編集委員	谷口 敏子
新井宿六丁目町会	編集委員	河原 神風代
新井宿七丁目町会	編集委員	石田 小夜子

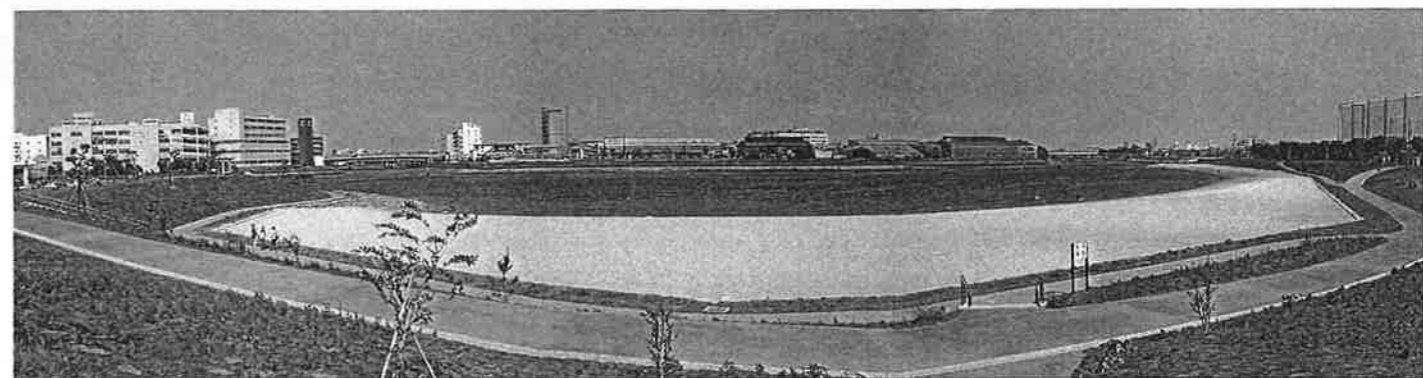
.....共同編集.....

監修 新井宿地区自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央4-31-14 ☎3776-5391
<http://www.cty.ota.tokyo.jp/kita/index.html>



「かぜ」
入四小5年 坂本 万智さんの作品

大森ふるさとの浜辺公園に
行ってきました



6月のある日、編集委員が連れだって、4月にオープンした「大森ふるさとの浜辺公園」に出かけてみました。公園の入口に立って、美しい白砂の浜辺とその規模の大きさに驚きました。

ここは、昭和30年代、まだ海水浴ができた頃の大森海岸を再現したという人工の砂浜を備えた公園です。なだらかな緑地の広がる丘の広場から眺めると、この一面がまるで模型でつくられた風景のような錯覚にとらわれました。白い砂浜の向こうには、果てしない青い水平線ではなく、対岸の道路を行きかう車と、羽田空港を発着する機影が見えます。この砂浜が、都会の雑踏の中に造られた人工の砂浜なのだ納得させられます。

それでも心地よく吹いてくる風は、磯の香りがし、子ども達にとっては、日頃、触れ合うことのできない海を体感できる場所に違いありません。

新井宿の皆さん、身近な憩いの場として「大森ふるさとの浜辺公園」を訪ねてみませんか。

【交通案内】

- 〈バス〉 森28
大森駅東口から平和島循環で
平和島五丁目下車徒歩3分
- 〈徒歩・自転車〉
平和島駅から徒歩15分(地図参考)



山王三丁目東自治会



会長 岡田 勇

およそ30年前の冬、我々の自治会で11軒の商店が焼ける大火がありました。JRは止まり、池上通りも止まり、臨時ニュースでテレビにも放映されました。これを教訓とし、当自治会では、地域防災を最重点課題としています。

わが自治会では、地域防災に対する関心と意識が非常に高く、地域再建を踏まえた防災意識の高さは、かなりのものがあると考えます。いわゆる地域として、火事の怖さを身に染みて知っているからです。

わが自治会は、単位は小さくても実践に即した訓練・指導を心掛けています。

特に、火を出さないための初期消火訓練には、高齢者にも参加してもらい、真剣に取り組んでいます。いざと言う時に備えて、区設の消火器や消火栓の設置場所も自治会として地図上に明記しています。ただ一つ、大きな課題として、今まで積み上げてきた活動を若い世代にどのように引き継いでいくか、商店街を中心とした自治会では、商店街の後継者問題も含めて、なかなか難しいものがあります。根気よく、若いやる気のある人や、新規商店の方に、積極的に自治会参加を呼び掛けたりしています。この事は、我々の自治会の現時点での最大の課題と考えます。

山王三・四丁目自治会

私たちの自治会では、「地域の安心・安全の強化充実」を重点課題として事業を進めております。「自分たちの街は自分たちで守ろう」と平成8年に結成された防災協力隊は、月々の訓練のほかに正月に出初式、8月には子どもまつりを開催して、地域の人たちの輪作りと災害への備えを進めております。

また、火の用心巡回を「安心パトロール」と銘打って、年間40日を超える防犯防火の巡回を実施しています。防災協力隊の半数近くは女性ですが、さらに女性のみによる救護隊も編成されて、総数50名を超える方たちが、なんらかの形で災害の備えに関わっております。

この女性救護隊は、AED*を含む応急救護訓練のほかに、プリザーブドフラワーの講習会など、文化活動を通じて仲間作りを行っており、婦人部とあわせて多くの女性が自治会の活動に参加されております。

今後も、役員、班長さんが一致協力して更に充実した地域活動を進めていけるように願っています。



会長 鈴木 英明



【安全パトロール】

* AED = 自動体外式除細動器

その1

自治会・町会の会長さんにおたずねしました — 地域の活動…ポイントは何ですか? —

- ◆自治会・町会の重点課題
- ◆コミュニティの親睦を深めるための取り組み
- ◆自治会・町会の活性化の工夫
- ◆自治会長・町会長として日頃思われていること

このような項目で、皆様に原稿を寄せていただきました。今号と次号に分けて、ご紹介いたします。



して、夏休みを利用したラジオ体操を行っており、その期間中に、防災教育としてミニポンプ、消火器による初期消火の勉強もしてもらっています。

- ◆ 本来、町会の役員は、親切心・協調性の旺盛な方々の集まりのつもりでいますが、役員それぞれが、ご近所の会員の方とのつながりが薄いように思われます。ここがネックになって、役員の補充・拡充がうまくいきません。
- ◆ 町会長は、役員との協力を得て楽しく活動できれば苦勞は厭いません。

中央一丁目町会



会長 今村 鑑

- ◆ いつ起きるか分からない災害に備えて、毎年10月頃に春日公園を利用し、消防署の指導のもと、各種の消火訓練、AED*救命訓練、婦人部の炊き出し訓練等を行っております。(訓練参加者毎回250~300名前後)

もちろん災害に対しての訓練も大切ですが、それに加えて、このような集まりを通して地域の人々との交流を深め、しっかりと「地域の絆」を構築していくことこそが最も大切なことだと感じております。

我が町会が最も誇りとしているのは、半世紀以上の歴史をもつ衛生部の事業です。毎年6、7、8月の暑い夏の盛りに2台の薬剤散布リヤカーで町内をくまなく散布し、蚊やハエ、毛虫等の駆除を行い、町の方々には大変喜ばれております。

- ◆ 親睦を深めるための取組みとしては、文化部主催の子ども納涼大会、青少年部主催の夏休みラジオ体操、ハイキング等がありますが、子ども達が一番楽しみにしている事は、何と言っても春日神社のお祭りでしょう。青少年部長を中心に、入二小ブロックの方々のご協力を頂き、子ども神輿、樽神輿や山車に可愛いお子さんの参加を頂き、盛大な渡御を行っております。

- ◆ 商店や町工場の減少に伴い、昼間、町に、若い男性が少なくなり、一旦大きな災害が起きた場合や、地域活動をする場合でも、人材の確保が次第に難しくなってきました。これからは、経験豊富な婦人部の方々と共に、昼間、地域におられる若い女性の方にも積極的に町の行事に参加していただき、魅力ある町作りを進めていく必要があると思います。

山王三丁目町会

- ◆ 防災活動組織がきちっと機能すれば、町会の事業部活動は必然的に機能するとさえ思っています。未だに、特に地震災害に対処する心構えのない役員がいるのが悩みです。
- ◆ 町内の会員とは、文化部活動として、バスハイク・施設見学会等の活動を通じて親睦を図っております。子ども達との関係については、青少年部事業と



会長 鈴木 康紀



消火訓練



ミニポンプ

